

第3章 地域ごとの整備方針

1. 南幌市街地の整備方針

「利便性の高い快適な市街地の形成」

南幌市街地は、南幌町民の多くが利用する中心市街地として、公共的機能の集積による利便性の向上を図るとともに、居住者及び今後移り住む子育て、若年世帯を含む人達が、安心して住み続けることができる快適な市街地の形成を図ります。

①南幌町の顔となる町の中心軸の形成

1) 利便性の高い歩行者軸の形成

南幌町の顔となる利便性の高い歩行者軸（中央通、公和通、8号通、柳陽通（道営住宅プロムナード・柳陽公園を含む））の形成と、商業圏・生活圏としての再活性化を図ります。

2) 公共施設、便利施設の集積

教育、生涯学習、保健・医療・福祉、買い物などの公共的施設等の集積による中心性の向上と安心空間の形成（生涯学習センター「ぼろろ」、保健福祉総合センター「あいくる」、ふるさと物産館「ビューロー」、スポーツセンター、町民プールの活用、民間事業者による日用品店舗・便利施設の検討など）を図ります。

②良好な居住環境の形成

1) 多様な住宅ストックの供給による住み続けられるまちづくりの推進

高齢者向けの住宅（シルバーハウジング等）や子育て、若年世帯支援住宅等の公営住宅の建設計画、民間事業者との連携による賃貸住宅の建設促進、子育て・若年世帯における民間賃貸住宅への支援の検討、空き家・空き地情報バンクの充実と活用を図ります。

2) みどり野団地の販売促進等

北海道住宅供給公社との連携によるみどり野団地の販売を促進します。未造成地については、良好な住宅地の供給を基本としながら北海道住宅供給公社とさまざまな視点から利活用について検討します。子育て・若年世帯における住宅建築の助成を進めます。

3) ユニバーサルデザインによるネットワークの形成

公共施設や商店街を歩行者のためのユニバーサルデザイン化に努めます。

4) 積雪に配慮した居住環境の形成

既存宅地における堆雪空間の確保に努め、また、今後予定される住宅地においては計画的な堆雪空間の設置を図ります。高齢者等が冬期間安心して生活が送れるよう、除雪サービスや屋根雪下ろし費用の助成事業、地域援助排雪事業などの雪対策事業の継続に努めます。

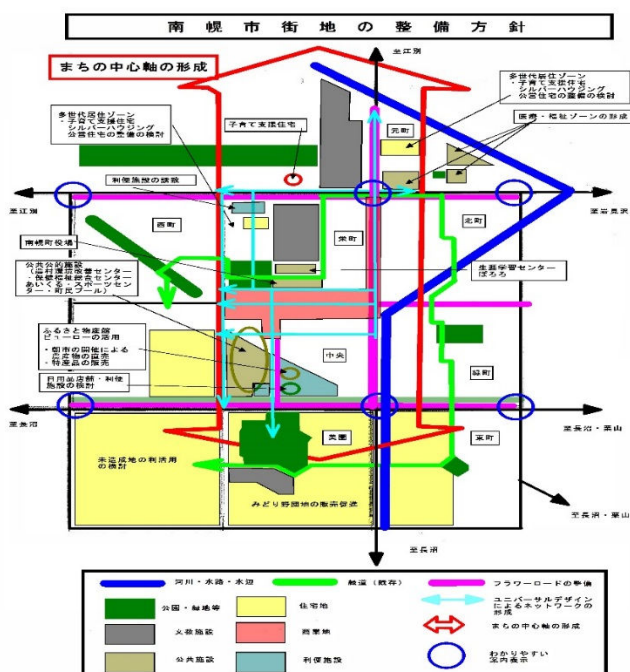
③緑のネットワークの形成

1) 街路樹などの南幌の緑資源を生かしたネットワークの形成

防風林や公園、街路樹の維持、保全と活用を図りながら、みどり通やはまなす通の歩行者専用道路に緑の資源を生かしたネットワークの形成に努めます。

2) 町民の手による花とみどりあふれる居住空間づくり

町内会活動などを通じた町民の緑化活動による沿道の花植えと町民の自主的な庭や花壇の緑化によるみどりあふれる居住空間づくりを支援します。



2. 夕張太地区の整備方針

「農のある快適な暮らしを楽しむ市街地環境の形成」

夕張太地区は、住宅市街地地域という特性を生かして、快適で緑あふれ、ゆとりとうるおいのある居住空間の中で、農業者との交流を楽しめる市街地環境の形成を図ります。

①快適な農村居住空間の形成

夕張太地区のコミュニティの維持を図ることが必要であり、そのため住宅地の西地区団地については、住宅需要動向を把握し民間事業者との連携を視野に入れ、整備を検討します。農村景観と調和した緑化対策を図りながら、南幌工業団地の分譲販売を促進し、北広島方面から南幌への入り口として、町の案内標識の設置に努めます。

②農とのふれあい交流空間の形成

農村公園や集落農園などを設置した農村交流ゾーンの形成を図り、「ふれあい農園施設」などを通して地区住民と農業者との交流を促進します。有休施設(夕張太小学校)における民間事業者による農業関連商品の開発、販売、雇用が創設され、更に地域活動施設としての支援を受けています。

③周辺地区とのネットワークの形成

夕張太地区と南幌市街地、南幌温泉などを結ぶバスなどの運行により、高齢者や障がい者の方などの自家用車を運転しない方でも、南幌市街地での買い物や病院の受診、南幌温泉の利用などが気軽に利用できるように努めます。

